

令和6年度 施設関係者（保護者）評価シート

（取りまとめ）

（令和7年3月吉日）

社会福祉法人 愛善会

キッズスクール認定こども園

○園の概要

（幼保連携型）キッズスクール認定こども園は、キッズスクール保育園（認可外保育園）として、平成16年4月から諫早市幸町において、6名の入園児で開園し、その後、平成18年4月に現在地に移転新築。平成24年4月から認可保育園として再スタート。平成28年4月、幼保連携型キッズスクール認定こども園となり現在に至っている。

○本園の目指す保育教育

【保育教育理念】

子どもの最善の利益、権利を第一に考え、保護者からも信頼され、地域に愛される認定こども園を目指す。

【保育方針】

- ・子ども一人ひとりを尊敬し、将来を見据えた「自立」に向け、実体験に基づく、保育教育を実践します。（ハンガリー保育）
- ・「すべての子どもが天才である。」という考えを前提に、自ら学ぼうとする力を育てるサポートを実践します。（ヨコミネ式教育）

【保育目標】

- ・「大事にされている」という感覚が積み重なって、「大事な存在である」という日常を過ごすことで、自己肯定感を育てる。（ハンガリー保育）
- ・自分の居場所があり、安全・安心を感じられることで、創造性や自発性を育てる。
（ハンガリー保育）
- ・「心の力」（情緒）、「学ぶ力」（認識）、「体の力」（体力）と培う。（ヨコミネ式教育）

○本年度重点的に取り組む目標

○担当制の確立

ハンガリー保育において、担当制を取り入れシステムの定着を図る

○更なるレベルアップ

ヨコミネ式保育教育において、更なるレベルアップを図る

○評価項目別の達成及び課題状況

評価項目	取組内容	取組状況	評価
本園の保育教育 目標の認識度	保護者会 保護者役員会 スクールたより 三者面談 保育参観 保育ボランティア 等での周知	あらゆる機会を捉え職員周知 をはじめ、保護者へのアプロ ーチ、理解を求めた	A-16 B-8 C-2 D-0
クラス経営	毎月、各クラスや個別の園児につい て成果、課題を報告する	毎日の朝礼、週一回のミーテ ィング時、毎月の職員会議時 に報告協議した	A-18 B-5 C-1 D-0 無回答-1
研修体制	教育保育の質の向上のために園内研 修を実施し、園外研修にも積極的に 参加する	園外から部外講師を招き、園 内研修を実施。 又異業種研修にも参加したり 保育会研修にも積極的に参加 し職員全体にフィードバック した。	A-18 B-5 C-1 D-0
特別支援教育	特別支援教育の理解を深め、該当児 に個別の配慮をしながら、発達を支 援をする。	リタの心療育学苑との交流、 支援、指導により療育を行っ た	A-16 B-8 C-1 D-0 無回答-1
小学校接続	小学校へのスムーズな接続が行われ るような工夫や取り組みを行う	幼保小連携事業研修参加や小 学校行事の参加を行いながら3 才児から接続を見据えたカリ キュラムを策定し無理なく小 学校での生活につながる保育 教育を日々実践した	A-16 B-7 C-2 D-0 無回答-1
施設・環境	季節の草花を園庭に植える 生き物を飼育する 絵本の充実を図る	プランタン、小さなキッズガ ーデン、に植栽、金魚の飼育 保護者に家庭の余絵本の寄付 依頼を行った	A-20 B-4 C-2 D-0
安全管理	職員の安全管理意識の醸成 災害発生時の訓練 危機管理マニュアルの作成	ミーティング時、朝礼等での 指導（共通認識） 全園児参加の（毎月）避難訓 練の実施	A-19 B-5 C-1 D-0

		危機感地マニュアルの勉強会の実施	
子育て支援	1号認定の児の延長保育の充実 教育保育相談事業、親子の集いの広 場事業の充実	子育てホット週間や保育参 観、保育ボランティアを通じ て事業の充実を図った	A-15 B-5 C-1 D-0 無回答-1
職員の勤務	職員の業務に応じて変形勤務制度や シフト制、担当制を取り入れる	バースデイ休暇を導入し休み がとりやすい体制を作った。 持ち帰り仕事、サービス超勤 の禁止、完全休憩時間の取得 に取り組んだ	A-18 B-3 C-1 D-0 無回答-1
園に対する保護者の満 足度の把握	園だより等で保育教育の状況を伝 え、保護者と情報共有を図る。 本園のホームページ、園だより等で 自己評価、財務状況を公開する	毎月の園だより発行で保育教 育の状況を周知したりホーム ページに財務状況（現況報 告）を掲載した	A-12 B-9 C-3 D-0 無回答-1

○こども園評価の具体的な目標や計画の総合的評価結果

結果	理由
A-15 B-8 C-2 D-0 無回答-1	【Bの回答】 ・先生方が頑張り過ぎではないかと心配になることがある。 ・十分に達成されているのかの評価が難しく...今後もより良い園への発展を思いBで。 ・取組状況欄の記載を読むだけでは、評価に困るのでピクロのブログ機能をもっと活用するなど具体的に各取り組みがわかると良いと思います。 ・保護者が不規則勤務の場合、前月中旬には翌月のシフトが組まれるため、保育参観や面談の予定を当月になってから案内されても休みが取れない事が何度もありました。 ・保護者として目に見える部分と見えずに分からない部分があるため、分かりかねます。 【Cの回答】 ・書いてあることは取り組まれているかもしれないが保護者には伝わっていないと思う。

評価	・十分に達成されている ・達成されている ・取組まれているが、成果が十分でない ・取り組みが不十分である	A B C D
----	---	------------------

○今後、取り組むべき課題

課題	取り組み方法
① 駐車場の整備	① 混み合う時間帯の対策
② 周知に使われるプリントの内容がわかりづらい。	② 回答なし
③ 発表会のPCR検査の紙が入っているのにはビックリした。	③ メールの時点で触れてくれるとビックリしない気がする。メールはアットホームな感じだから、文書で来るとキビシサを感じた。
④ このような取り組みの日々の周知。	④ 園入り口の掲示板を活用して、このような取り組みの報告や周知をしたら良いと思う。
⑤ 以上児も月に1回位出来るようになった事や園での様子を教えてほしい。 ペーパーレスも分かるが弁当の日だったり、時間（集合）等ある行事はプリントがあると目につく場所に貼れるなどしておけるので助かる。	⑤ 連絡帳があるんだから未満児のように貼るなど。
⑥ 園児のイベントや日々の生活、職員の研鑽などが見えにくい。	⑥ （例）ピクロのブログ機能の活用アップ
⑦ 保護者の参加が必要な行事の案内が遅い。	⑦ （例）ピクロのスケジュール機能の活用アップ（数か月まで予め決めておく）

○評議委員会、理事会での総体的評価

園の運営について勉強し、幼保連携型の認定こども園としての課題を認識しながら、更なる向上を期待する。とし、概ね良好の評価を得ている。

○財務状況

税理士及び監査委員の監査を受け、妥当であると認められた。

○評価項目別の達成及び課題状況

評価項目	取組内容	取組状況	評価
本園の保育教育 目標の認識度	保護者会 保護者役員会 スクールたより 三者面談 保育参観 保育ボランティア 等での周知	あらゆる機会を捉え職員周知 をはじめ、保護者へのアプロ ーチ、理解を求めた	B
クラス経営	毎月、各クラスや個別の園児につい て成果、課題を報告する	毎日の朝礼、週一回のミーテ ィング時、毎月の職員会議時 に報告協議した	B
研修体制	教育保育の質の向上のために園内研 修を実施し、園外研修にも積極的に 参加する	園外から部外講師を招き、園 内研修を実施。 又異業種研修にも参加したり 保育会研修にも積極的に参加 し職員全体にフィードバック した。	B
特別支援教育	特別支援教育の理解を深め、該当児 に個別の配慮をしながら、発達を支 援をする。	リタの心療育学苑との交流、 支援、指導により療育を行っ た	B
小学校接続	小学校へのスムーズな接続が行われ るような工夫や取り組みを行う	幼保小連携事業研修参加や小 学校行事の参加を行いながら3 才児から接続を見据えたカリ キュラムを策定し無理なく小 学校での生活につながる保育 教育を日々実践した	A
施設・環境	季節の草花を園庭に植える 生き物を飼育する 絵本の充実を図る	プランタン、小さなキッズガ ーデン、に植栽、金魚の飼育 保護者に家庭の余った絵本の 寄付依頼を行った	B
安全管理	職員の安全管理意識の醸成 災害発生時の訓練 危機管理マニュアルの作成	ミーティング時、朝礼等での 指導（共通認識） 全園児参加の（毎月）避難訓 練の実施 危機感地マニュアルの勉強会 の実施	A
子育て支援	1号認定の児の延長保育の充実	子育てホット週間や保育参	A

	教育保育相談事業、親子の集いの広場事業の充実	観、保育ボランティアを通じて事業の充実を図った	
職員の勤務	職員の業務に応じて変形勤務制度やシフト制、担当制を取り入れる	バースデイ休暇を導入し休みがとりやすい体制を作った。 持ち帰り仕事、サービス超勤の禁止、完全休憩時間の取得に取り組んだ 又、令和4年度から計画休暇導入に伴う労使協定を結んだ	B
園に対する保護者の満足度の把握	園だより等で保育教育の状況を伝え、保護者と情報共有を図る。 本園のホームページ、園だより等で自己評価、財務状況を公開する	毎月の園だより発行で保育教育の状況を周知したりホームページに財務状況（現況報告）を掲載した	B-

○こども園評価の具体的な目標や計画の総合的評価結果

結果	理由
B	

評価	・十分に達成されている ・達成されている ・取組まれているが、成果が十分でない ・取り組みが不十分である	A B C D
----	---	------------------

○今後、取り組むべき課題

課題	取り組み方法

○評議委員会、理事会での総体的評価

園の運営について勉強し、幼保連携型の認定こども園としての課題を認識しながら、更なる向上を期待する。とし、概ね良好の評価を得ている。

○財務状況

税理士及び監査委員の監査を受け、妥当であると認められた。

○評価項目別の達成及び課題状況

評価項目	取組内容	取組状況	評価
本園の保育教育 目標の認識度	保護者会 保護者役員会 スクールたより 三者面談 保育参観 保育ボランティア 等での周知	あらゆる機会を捉え職員周知 をはじめ、保護者へのアプロ ーチ、理解を求めた	A
クラス経営	毎月、各クラスや個別の園児につい て成果、課題を報告する	毎日の朝礼、週一回のミーテ ィング時、毎月の職員会議時 に報告協議した	A
研修体制	教育保育の質の向上のために園内研 修を実施し、園外研修にも積極的に 参加する	園外から部外講師を招き、園 内研修を実施。 又異業種研修にも参加したり 保育会研修にも積極的に参加 し職員全体にフィードバック した。	A
特別支援教育	特別支援教育の理解を深め、該当児 に個別の配慮をしながら、発達の支 援をする。	リタの心療育学苑との交流、 支援、指導により療育を行っ た	A
小学校接続	小学校へのスムーズな接続が行われ るような工夫や取り組みを行う	幼保小連携事業研修参加や小 学校行事の参加を行いながら3 才児から接続を見据えたカリ キュラムを策定し無理なく小 学校での生活につながる保育 教育を日々実践した	A
施設・環境	季節の草花を園庭に植える 生き物を飼育する 絵本の充実を図る	プランタン、小さなキッズガ ーデン、に植栽、金魚の飼育 保護者に家庭の余った絵本の 寄付依頼を行った	A
安全管理	職員の安全管理意識の醸成 災害発生時の訓練 危機管理マニュアルの作成	ミーティング時、朝礼等での 指導（共通認識） 全園児参加の（毎月）避難訓 練の実施 危機感地マニュアルの勉強会 の実施	C
子育て支援	1号認定の児の延長保育の充実	子育てホット週間や保育参	A

	教育保育相談事業、親子の集いの広場事業の充実	観、保育ボランティアを通じて事業の充実を図った	A
職員の勤務	職員の業務に応じて変形勤務制度やシフト制、担当制を取り入れる	バースデイ休暇を導入し休みがとりやすい体制を作った。 持ち帰り仕事、サービス超勤の禁止、完全休憩時間の取得に取り組んだ 又、令和4年度から計画休暇導入に伴う労使協定を結んだ	A
園に対する保護者の満足度の把握	園だより等で保育教育の状況を伝え、保護者と情報共有を図る。 本園のホームページ、園だより等で自己評価、財務状況を公開する	毎月の園だより発行で保育教育の状況を周知したりホームページに財務状況（現況報告）を掲載した	A

○こども園評価の具体的な目標や計画の総合的評価結果

結果	理由
A	目標・計画の他に、不審者や火災時の対応訓練を行った。また、園のホームページに財務状況を公開した。

評価		
	・十分に達成されている	A
	・達成されている	B
	・取組まれているが、成果が十分でない	C
	・取り組みが不十分である	D

○今後、取り組むべき課題

課題	取り組み方法

○評議委員会、理事会での総体的評価

園の運営について勉強し、幼保連携型の認定こども園としての課題を認識しながら、更なる向上を期待する。とし、概ね良好の評価を得ている。

○財務状況

税理士及び監査委員の監査を受け、妥当であると認められた。

○評価項目別の達成及び課題状況

評価項目	取組内容	取組状況	評価
本園の保育教育 目標の認識度	保護者会 保護者役員会 スクールたより 三者面談 保育参観 保育ボランティア 等での周知	あらゆる機会を捉え職員周知 をはじめ、保護者へのアプロ ーチ、理解を求めた	B
クラス経営	毎月、各クラスや個別の園児につい て成果、課題を報告する	毎日の朝礼、週一回のミーテ ィング時、毎月の職員会議時 に報告協議した	B
研修体制	教育保育の質の向上のために園内研 修を実施し、園外研修にも積極的に 参加する	園外から部外講師を招き、園 内研修を実施。 又異業種研修にも参加したり 保育会研修にも積極的に参加 し職員全体にフィードバック した。	A
特別支援教育	特別支援教育の理解を深め、該当児 に個別の配慮をしながら、発達の支 援をする。	リタの心療育学苑との交流、 支援、指導により療育を行っ た	B
小学校接続	小学校へのスムーズな接続が行われ るような工夫や取り組みを行う	幼保小連携事業研修参加や小 学校行事の参加を行いながら3 才児から接続を見据えたカリ キュラムを策定し無理なく小 学校での生活につながる保育 教育を日々実践した	A
施設・環境	季節の草花を園庭に植える 生き物を飼育する 絵本の充実を図る	プランタン、小さなキッズガ ーデン、に植栽、金魚の飼育 保護者に家庭の余った絵本の 寄付依頼を行った	B
安全管理	職員の安全管理意識の醸成 災害発生時の訓練 危機管理マニュアルの作成	ミーティング時、朝礼等での 指導（共通認識） 全園児参加の（毎月）避難訓 練の実施 危機感地マニュアルの勉強会 の実施	B
子育て支援	1号認定の児の延長保育の充実	子育てホット週間や保育参	

	教育保育相談事業、親子の集いの広場事業の充実	観、保育ボランティアを通じて事業の充実を図った	B
職員の勤務	職員の業務に応じて変形勤務制度やシフト制、担当制を取り入れる	バースデイ休暇を導入し休みがとりやすい体制を作った。 持ち帰り仕事、サービス超勤の禁止、完全休憩時間の取得に取り組んだ 又、令和4年度から計画休暇導入に伴う労使協定を結んだ	B
園に対する保護者の満足度の把握	園だより等で保育教育の状況を伝え、保護者と情報共有を図る。 本園のホームページ、園だより等で自己評価、財務状況を公開する	毎月の園だより発行で保育教育の状況を周知したりホームページに財務状況（現況報告）を掲載した	C

○こども園評価の具体的な目標や計画の総合的評価結果

結果	理由
B	特に指摘する事項はありません

評価	・十分に達成されている ・達成されている ・取組まれているが、成果が十分でない ・取り組みが不十分である	A B C D
----	---	------------------

○今後、取り組むべき課題

課題	取り組み方法
保育園内の様子がわかりにくい。 行事等の連絡をもう少し早く通知してほしい。	開催日までの余裕を持った通知をする

○評議委員会、理事会での総体的評価

園の運営について勉強し、幼保連携型の認定こども園としての課題を認識しながら、更なる向上を期待する。とし、概ね良好の評価を得ている。

○財務状況

税理士及び監査委員の監査を受け、妥当であると認められた。

○評価項目別の達成及び課題状況

評価項目	取組内容	取組状況	評価
本園の保育教育 目標の認識度	保護者会 保護者役員会 スクールたより 三者面談 保育参観 保育ボランティア 等での周知	あらゆる機会を捉え職員周知 をはじめ、保護者へのアプロ ーチ、理解を求めた	A
クラス経営	毎月、各クラスや個別の園児につい て成果、課題を報告する	毎日の朝礼、週一回のミーテ ィング時、毎月の職員会議時 に報告協議した	A
研修体制	教育保育の質の向上のために園内研 修を実施し、園外研修にも積極的に 参加する	園外から部外講師を招き、園 内研修を実施。 又異業種研修にも参加したり 保育会研修にも積極的に参加 し職員全体にフィードバック した。	A
特別支援教育	特別支援教育の理解を深め、該当児 に個別の配慮をしながら、発達の支 援をする。	リタの心療育学苑との交流、 支援、指導により療育を行っ た	A
小学校接続	小学校へのスムーズな接続が行われ るような工夫や取り組みを行う	幼保小連携事業研修参加や小 学校行事の参加を行いながら3 才児から接続を見据えたカリ キュラムを策定し無理なく小 学校での生活につながる保育 教育を日々実践した	A
施設・環境	季節の草花を園庭に植える 生き物を飼育する 絵本の充実を図る	プランタン、小さなキッズガ ーデン、に植栽、金魚の飼育 保護者に家庭の余った絵本の 寄付依頼を行った	A
安全管理	職員の安全管理意識の醸成 災害発生時の訓練 危機管理マニュアルの作成	ミーティング時、朝礼等での 指導（共通認識） 全園児参加の（毎月）避難訓 練の実施 危機感地マニュアルの勉強会 の実施	A
子育て支援	1号認定の児の延長保育の充実	子育てホット週間や保育参	A

	教育保育相談事業、親子の集いの広場事業の充実	観、保育ボランティアを通じて事業の充実を図った	
職員の勤務	職員の業務に応じて変形勤務制度やシフト制、担当制を取り入れる	バースデイ休暇を導入し休みがとりやすい体制を作った。 持ち帰り仕事、サービス超勤の禁止、完全休憩時間の取得に取り組んだ 又、令和4年度から計画休暇導入に伴う労使協定を結んだ	A
園に対する保護者の満足度の把握	園だより等で保育教育の状況を伝え、保護者と情報共有を図る。 本園のホームページ、園だより等で自己評価、財務状況を公開する	毎月の園だより発行で保育教育の状況を周知したりホームページに財務状況（現況報告）を掲載した	A

○こども園評価の具体的な目標や計画の総合的評価結果

結果	理由
A	

評価	・十分に達成されている	A
	・達成されている	B
	・取組まれているが、成果が十分でない	C
	・取り組みが不十分である	D

○今後、取り組むべき課題

課題	取り組み方法

○評議委員会、理事会での総体的評価

園の運営について勉強し、幼保連携型の認定こども園としての課題を認識しながら、更なる向上を期待する。とし、概ね良好の評価を得ている。

○財務状況

税理士及び監査委員の監査を受け、妥当であると認められた。

○評価項目別の達成及び課題状況

評価項目	取組内容	取組状況	評価
本園の保育教育 目標の認識度	保護者会 保護者役員会 スクールたより 三者面談 保育参観 保育ボランティア 等での周知	あらゆる機会を捉え職員周知 をはじめ、保護者へのアプロ ーチ、理解を求めた	A
クラス経営	毎月、各クラスや個別の園児につい て成果、課題を報告する	毎日の朝礼、週一回のミーテ ィング時、毎月の職員会議時 に報告協議した	A
研修体制	教育保育の質の向上のために園内研 修を実施し、園外研修にも積極的に 参加する	園外から部外講師を招き、園 内研修を実施。 又異業種研修にも参加したり 保育会研修にも積極的に参加 し職員全体にフィードバック した。	A
特別支援教育	特別支援教育の理解を深め、該当児 に個別の配慮をしながら、発達の支 援をする。	リタの心療育学苑との交流、 支援、指導により療育を行っ た	A
小学校接続	小学校へのスムーズな接続が行われ るような工夫や取り組みを行う	幼保小連携事業研修参加や小 学校行事の参加を行いながら3 才児から接続を見据えたカリ キュラムを策定し無理なく小 学校での生活につながる保育 教育を日々実践した	A
施設・環境	季節の草花を園庭に植える 生き物を飼育する 絵本の充実を図る	プランタン、小さなキッズガ ーデン、に植栽、金魚の飼育 保護者に家庭の余った絵本の 寄付依頼を行った	A
安全管理	職員の安全管理意識の醸成 災害発生時の訓練 危機管理マニュアルの作成	ミーティング時、朝礼等での 指導（共通認識） 全園児参加の（毎月）避難訓 練の実施 危機感地マニュアルの勉強会 の実施	A
子育て支援	1号認定の児の延長保育の充実	子育てホット週間や保育参	A

	教育保育相談事業、親子の集いの広場事業の充実	観、保育ボランティアを通じて事業の充実を図った	
職員の勤務	職員の業務に応じて変形勤務制度やシフト制、担当制を取り入れる	バースデイ休暇を導入し休みがとやすい体制を作った。 持ち帰り仕事、サービス超勤の禁止、完全休憩時間の取得に取り組んだ 又、令和4年度から計画休暇導入に伴う労使協定を結んだ	A
園に対する保護者の満足度の把握	園だより等で保育教育の状況を伝え、保護者と情報共有を図る。 本園のホームページ、園だより等で自己評価、財務状況を公開する	毎月の園だより発行で保育教育の状況を周知したりホームページに財務状況（現況報告）を掲載した	A

○こども園評価の具体的な目標や計画の総合的評価結果

結果	理由
A	子供の年齢に応じた行事や取組が考えられていると思います。

評価	・十分に達成されている ・達成されている ・取組まれているが、成果が十分でない ・取り組みが不十分である	A B C D
----	---	------------------

○今後、取り組むべき課題

課題	取り組み方法
職員さんへの給料アップを おねがします。	保育士さんだけでなく保護者の生活や仕事は成り立ちません。感謝しかありません。より一層の評価とお給料アップを願います。

○評議委員会、理事会での総合的評価

園の運営について勉強し、幼保連携型の認定こども園としての課題を認識しながら、更なる向上を期待する。とし、概ね良好の評価を得ている。

○財務状況

税理士及び監査委員の監査を受け、妥当であると認められた。

○評価項目別の達成及び課題状況

評価項目	取組内容	取組状況	評価
本園の保育教育 目標の認識度	保護者会 保護者役員会 スクールたより 三者面談 保育参観 保育ボランティア 等での周知	あらゆる機会を捉え職員周知 をはじめ、保護者へのアプロ ーチ、理解を求めた	A
クラス経営	毎月、各クラスや個別の園児につい て成果、課題を報告する	毎日の朝礼、週一回のミーテ ィング時、毎月の職員会議時 に報告協議した	A
研修体制	教育保育の質の向上のために園内研 修を実施し、園外研修にも積極的に 参加する	園外から部外講師を招き、園 内研修を実施。 又異業種研修にも参加したり 保育会研修にも積極的に参加 し職員全体にフィードバック した。	A
特別支援教育	特別支援教育の理解を深め、該当児 に個別の配慮をしながら、発達の支 援をする。	リタの心療育学苑との交流、 支援、指導により療育を行っ た	A
小学校接続	小学校へのスムーズな接続が行われ るような工夫や取り組みを行う	幼保小連携事業研修参加や小 学校行事の参加を行いながら3 才児から接続を見据えたカリ キュラムを策定し無理なく小 学校での生活につながる保育 教育を日々実践した	A
施設・環境	季節の草花を園庭に植える 生き物を飼育する 絵本の充実を図る	ブランタン、小さなキッズガ ーデン、に植栽、金魚の飼育 保護者に家庭の余った絵本の 寄付依頼を行った	A
安全管理	職員の安全管理意識の醸成 災害発生時の訓練 危機管理マニュアルの作成	ミーティング時、朝礼等での 指導（共通認識） 全園児参加の（毎月）避難訓 練の実施 危機感地マニュアルの勉強会 の実施	A
子育て支援	1号認定の児の延長保育の充実	子育てホット週間や保育参	A

	教育保育相談事業、親子の集いの広場事業の充実	親、保育ボランティアを通じて事業の充実を図った	
職員の勤務	職員の業務に応じて変形勤務制度やシフト制、担当制を取り入れる	バースデイ休暇を導入し休みがとりやすい体制を作った。 持ち帰り仕事、サービス超勤の禁止、完全休憩時間の取得に取り組んだ 又、令和4年度から計画休暇導入に伴う労使協定を結んだ	A
園に対する保護者の満足度の把握	園だより等で保育教育の状況を伝え、保護者と情報共有を図る。 本園のホームページ、園だより等で自己評価、財務状況を公開する	毎月の園だより発行で保育教育の状況を周知したりホームページに財務状況（現況報告）を掲載した	A

○こども園評価の具体的な目標や計画の総合的評価結果

結果	理由
A	すべての項目において十分に達成されている。

評価	・十分に達成されている ・達成されている ・取組まれているが、成果が十分でない ・取り組みが不十分である	A B C D
----	---	------------------

○今後、取り組むべき課題

課題	取り組み方法

○評議委員会、理事会での総体的評価

園の運営について勉強し、幼保連携型の認定こども園としての課題を認識しながら、更なる向上を期待する。とし、概ね良好の評価を得ている。

○財務状況

税理士及び監査委員の監査を受け、妥当であると認められた。

○評価項目別の達成及び課題状況

評価項目	取組内容	取組状況	評価
本園の保育教育 目標の認識度	保護者会 保護者役員会 スクールたより 三者面談 保育参観 保育ボランティア 等での周知	あらゆる機会を捉え職員周知 をはじめ、保護者へのアプロ ーチ、理解を求めた	A
クラス経営	毎月、各クラスや個別の園児につい て成果、課題を報告する	毎日の朝礼、週一回のミーテ ィング時、毎月の職員会議時 に報告協議した	B
研修体制	教育保育の質の向上のために園内研 修を実施し、園外研修にも積極的に 参加する	園外から部外講師を招き、園 内研修を実施。 又異業種研修にも参加したり 保育会研修にも積極的に参加 し職員全体にフィードバック した。	A
特別支援教育	特別支援教育の理解を深め、該当児 に個別の配慮をしながら、発達の支 援をする。	リタの心療育学苑との交流、 支援、指導により療育を行っ た	B
小学校接続	小学校へのスムーズな接続が行われ るような工夫や取り組みを行う	幼保小連携事業研修参加や小 学校行事の参加を行いながら3 才児から接続を見据えたカリ キュラムを策定し無理なく小 学校での生活につながる保育 教育を日々実践した	A
施設・環境	季節の草花を園庭に植える 生き物を飼育する 絵本の充実を図る	プランタン、小さなキッズガ ーデン、に植栽、金魚の飼育 保護者に家庭の余った絵本の 寄付依頼を行った	B
安全管理	職員の安全管理意識の醸成 災害発生時の訓練 危機管理マニュアルの作成	ミーティング時、朝礼等での 指導（共通認識） 全園児参加の（毎月）避難訓 練の実施 危機感地マニュアルの勉強会 の実施	A
子育て支援	1号認定の児の延長保育の充実	子育てホット週間や保育参	

	教育保育相談事業、親子の集いの広場事業の充実	観、保育ボランティアを通じて事業の充実を図った	B
職員の勤務	職員の業務に応じて変形勤務制度やシフト制、担当制を取り入れる	バースデイ休暇を導入し休みがとやすい体制を作った。 持ち帰り仕事、サービス超勤の禁止、完全休憩時間の取得に取り組んだ 又、令和4年度から計画休暇導入に伴う労使協定を結んだ	B
園に対する保護者の満足度の把握	園だより等で保育教育の状況を伝え、保護者と情報共有を図る。 本園のホームページ、園だより等で自己評価、財務状況を公開する	毎月の園だより発行で保育教育の状況を周知したりホームページに財務状況（現況報告）を掲載した	B

○こども園評価の具体的な目標や計画の総合的評価結果

結果	理由
B	良い環境の中で、保育が行われてありがたい気持ちでいっぱいです。

評価		
	・十分に達成されている	A
	・達成されている	B
	・取組まれているが、成果が十分でない	C
	・取り組みが不十分である	D

○今後、取り組むべき課題

課題	取り組み方法

○評議委員会、理事会での総体的評価

園の運営について勉強し、幼保連携型の認定こども園としての課題を認識しながら、更なる向上を期待する。とし、概ね良好の評価を得ている。

○財務状況

税理士及び監査委員の監査を受け、妥当であると認められた。